



「創作者と人工知能分野研究者のコラボレーション 本学元職員が「決戦！ 小説大賞」受賞」

<概要>

豊橋技術科学大学の言語情報学研究室にて制作中の「創作支援システム」を利用し、本学の元職員、山口昌志氏が、講談社主催の歴史小説新人賞、第4回「決戦！ 小説大賞」を受賞しました。

<詳細>

豊橋技術科学大学の言語情報学研究室（代表：井佐原 均教授）にて制作中の「創作支援システム」を利用して、本学元職員、山口 昌志氏が、「本能寺の変」をテーマにした小説『光秀の友——吉田兼和』により、講談社主催の小説新人賞、第4回「決戦！ 小説大賞」を受賞しました。

「創作支援システム」は、同研究室の上野 未貴助教と、修了生の川越 慧氏、博士前期課程学生の葛井 健文氏が中心となって研究開発したもので、質問集合とグラフに基づき、物語全体の流れが管理できるようなシステム構築を目指すものとなっています。

「決戦！ 小説大賞」については、直木賞候補となった佐藤巖太郎を始め、武川佑、砂原浩太郎といった、注目作家を輩出する小説新人賞で、第3回が該当者なしとなった後、第4回において山口氏が受賞しました。

山口氏は、昨年12月まで本学国際課に勤務しており、本学を退職後はベトナム国ハノイに新設された日越大学において事務支援に従事しています。山口氏は、平成27年にも、第22回九州さが大衆文学賞「笹沢佐保賞」を受賞し、在職中から「創作支援システム」の研究にも積極的に協力してきました。

2月22日発売の「小説現代」3月号誌上に受賞の告知が掲載された後、受賞作全文は、来月発売の「小説現代」4月号誌上に掲載される予定です。



写真：山口昌志氏
(撮影：Thanh Long)

本件に関する連絡先

担当：言語情報学研究室 上野助教

広報担当・取材窓口：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506